

塩川正十郎氏死去

93歳 元財務相、「塩爺」



小泉純一郎内閣で財務相を務めた塩川正十郎(しお)

かわ・まさじゅうろう)氏が19日午前10時15分、肺炎のため大阪市内の病院で死去した。93歳。通夜は23日午後6時、葬儀・告別式は24日正午、大阪府吹田市桃山台5の3の10、公益社千里会館で。喪主は長男、耕士(こうし)氏。

大正10年、大阪府出身。慶応大経済学部卒業後、布施市(現東大阪市)助役などを経て昭和42年に衆院初当選。11回の当選を重ね、文相や運輸相、官房長官、自民党総務会長などを歴任した。

田中角栄、福田赳夫両氏が争い、「角福戦争」と呼ばれた47年の総裁選では、福田陣営の「宣伝部長」として奔走。4年後に発足した福田内閣では官房副長官を務め、ダッカ日航機ハイジャック事件の対応にあたった。

平成13年、79歳で第1次小泉内閣の財務相に就任。独特のとぼけたキャラクターで「塩爺」の愛称で親しまれた。小泉氏とは「打ち合わせもしないのに同じことを言ってる」と周囲に語るほど親しく、財務相退任後も政権を支えた。20年3月から25年2月まで、本紙コラム「塩爺のよく聞いてください」を執筆した。

|| 2面に「評伝」、25面に「関西発展に尽力」

評伝

いま手元に水の冊子があ
る。「これをしっかり読んで勉強しなさい」と渡された『帝国憲法改正案委員小委員会速記録』。昭和21年

3月、連合国軍総司令部(GHQ)が日本政府に発表させた「憲法改正草案要綱」を修正するため13回開かれた秘密会の記録だ。「速記録をひもとくと、

当時の議員がいかに真剣に戦後日本の建設を考えたかが伝わってくる。それに比べると、今の政治家は人間が小さくなってきた」と平成24年6月の本紙コラムに

記した。「自らの努力で国家の生存を確保する決意を示す憲法」への改正を訴え続けた「塩爺」なら、安全保障関連法案採決をめぐる喧嘩をどうみるのか聞きた

かった。事務所を訪ねると決まって書見台に向かっていた。5年前の猛暑で体調を崩してから新しい情報を得る努力は絶やさなかった。

「今の政治家 人間が小さい」



塩川氏 改憲訴え続け

①大相撲春場所で優勝した朝青龍の横で手を広げて喜ぶ塩川正二郎氏
②財務相として参院予算委員会身ぶり手ぶりを交えて答弁する塩川氏。味わいのある話し方で笑いを誘った

平成15年1月



「僕もええ勉強になりましたよ。夜の8時頃に書きはじめて、気がついたら朝の3時になった」。25年2月にコラムの最終回の原稿を手渡されたときの笑顔が忘れられない。

小泉純一郎政権の財務相として、税金の無駄遣いの温床だった特別会計を「母屋ではおかゆを食べて節約しておるのに、離れではすき餅き食っておる」とたとえ、飄々とした「塩爺」のイメージが定着した。

だが、本人がいう「瞬間湯沸かし器」の方がさわしい気がする。「政治は何をやっとるんや」という叱声は今でも聞こえる気がしてならない。

(ワシントン支局 加納 宏幸) 11面参照

柔和で大胆「塩爺」愛され

関空建設など関西発展に力

塩川正十郎さん

柔和で人なつっこさを感じさせる笑顔と、タブーを恐れない大胆さ。19日、93歳で死去した塩川正十郎元財務相は、「塩爺」のニックネームで親しまれる一方、関西の浮揚に力を注いだ政治家の一人だった。歯にきめ着せぬ言動で物議も醸したが、独特の「おとぼけキャラ」が魅力にも。塩川さんを知る人たちからは、突然の悲報に悼む声が上がった。

(1面参照)

「東京へ本社を移す企業が相次ぎ、関西経済の地盤沈下に懸念を示されていた。常に関西の発展を考えていた方だった」。大阪商工会議所元副会頭で、衣料品製造「サンリット産業」の小池俊二会長(85)は、塩川さんの地元への思いを振り返った。

大阪府東大阪市で7人き

ようだいの長男として生まれ、塩川さんは45歳で衆院議員に初当選。以来、三十余年にわたり国政の場に身を投じ、財界と歩調を合わせて関西の振興に取り組んだ。

特に平成6年に開港した関西国際空港への思いは強かった。初入閣だった昭和55年の運輸相就任早々、閣議で建設を決議。関西経済同友会元事務局長の萩尾千里さん(78)は「関西で2つ

めめ空港に懐疑的な見方が強かったなか、関西財界とともに體が関を説得にまわってくれた」と振り返る。「関空が民間も出資する株式会社方式で運営することに、反発した財界を説得してくれた」と打ち明けた。

財務相在任時は、柔和な老紳士のイメージから「塩爺」というニックネームが生まれ、テレビ番組にも度々出演した。数多く共演したニュースキャスター、辛坊治郎さん(59)は「自宅は小屋のような造りで、『清貧』という言葉を買かれた政治家でした。肩の力が抜けた飄々とした語り口で、実に魅力的な方。お世話になりました」としのんだ。

政界引退後はスポーツや文化の育成にも貢献。日本相撲協会運営審議会委員も務め、同協会の北の湖理事

長(元横綱)は「一般社会の情勢などを教えてもらい、お世話になりました」とコメント。関西棋院理事長も歴任し、同棋院の第一人者、結城聡九段(43)は「関西棋院をよくしようと改革に大なたをふるったと聞いています。厳しいだけでなく、『よう頑張ってくれたな』と周囲の労をねぎらうことも忘れませんでした」。

一方、塩川さんの東大阪市内の自宅にはこの日、弔問客が続々と訪れ、近所の人たちも地元の名士の死を悼んだ。

塩川さんが長年通った理容室店主の若木貞子さんによると、塩川さんが財務相時など多忙の際、久しぶりに来店すると「自分でカットした。うまく直して」と笑いながら話していたこと、今年8月

に来店した際は、しっかりとした足取りだったとい、若木さんは「ご立派な方でした。急なことでびっくりしすぎて動揺していま」と悲しんでいた。

無駄遣い「すき焼き」に例え

塩川正十郎さんは、率直な発言や、とぼけた味のおおらかな物言いが持ち味だった。

平成13年4月の財務相就任会見で、景気回復について問われると、「そんな神さんみたいこと、よう言いません」と返答。この年、予算編成が大詰めを迎えた際は、「金でなくて知恵出してや」と財務省内を激励した。

15年には政界引退について「食うのに困っている人が(国会議員に)しがみついている」と記者団に述べていた。



財務相のころ、完成したサッカーワールドカップ日韓大会の記念硬貨を手取る塩川正十郎さん。平成13年10月、大阪市北区の財務省造幣局

塩川正十郎さんの主な発言

- ▶ そんな神さんみたいこと、よう言いません
(平成13年4月26日の財務相就任会見で「景気はいつ回復するのか」と問われ)
- ▶ 金でなくて知恵出してや
(同12月21日、予算編成が大詰めを迎えた財務省内を激励)
- ▶ あんた、すごい度胸もんやな
(14年9月18日、前日に日朝首脳会談を終えた小泉純一郎首相を評して)
- ▶ 母屋ではおかゆ食って節約しておるのに、離れ座敷で子供がすき焼き食って
(15年2月25日、衆院財務金融委員会で特別会計の無駄遣いを指摘)
- ▶ (自分は)食うのに心配ないし。食うのに困っている人が(国会議員に)しがみついている
(同10月10日、政界引退について記者団に)